

最新水木BEST本

★印は初登場!!

2002.4.1~4.30

TTFネットワーク発刊データ

(本書を除く小社全書目書の表紙)

書名	著者名	本体	配本	前月
1 普及版 数の悪魔	エンツォスベルガー	1600円	00.8.23	1
★ 2 「おさん」的思考	内田 樹	1900円	02.2.29	New
3 考える練習をしよう	バーンス	1650円	03.5.3	5
4 であればムカつかずに生きたい	田口ランディ	1400円	00.10.11	3
1 5 世の途中から隠されていること	木下 直之	3800円	02.2.20	9
6 根をもつこと、翼をもつこと	田口ランディ	1400円	01.10.31	2
7 印刷に恋して	松田 哲夫	2800円	01.12.27	4
★ 8 マドンナの引越し	池内 紀	1600円	02.4.10	New
9 馬鹿な男ほど愛おしい	田口ランディ	1400円	00.5.31	6
1 10 本の音	野江 雄幸	2000円	02.3.25	12
11 きまりつて何?	鎮見俊輔と中学生たち	1400円	02.1.29	11
12 オードリーとフランソワーズ	山崎 まどか	1500円	02.1.25	5
★ 13 書物史のために	宮下史朗	2200円	02.3.29	New
★ 14 実用進化論	辻 芳樹 木村結子	1600円	02.3.29	New
15 大切な1つ目のものは何?	鶴見俊輔と中学生たち	1400円	01.12.27	13
16 東京本道賢記	坂崎 重盛	2200円	02.3.15	10
17 すくすくその遠い場所	クラフト・エヴィング商会	1800円	98.12.18	17
18 がん患者学	柳原 和子	2600円	00.7.7	16
19 20世紀はどのようにデザインされたか	柏木 博	1900円	02.1.29	8
20 伝説 自然発酵種のパンづくり	林 弘子	1800円	02.1.31	15

書評紹介続々! 絶対調子 東京本道賢記 3/15配本

坂崎重盛 本体2200円 ISBN 4-794-6523-0

「東京本」は素敵だ。また、東京という町は今も四季折々つくづく面白い。(本文刊)——東京生まれ、町歩きを愛する著者が集めたありとあらゆる東京本から厳選10冊を紹介!

◎1週刊文春(5/8巻) 朝日新聞(5/12) 著者インタビューしました!!

書物史のために

3/29配本 宮下史朗 著

本体2200円 4-794-6523-7

「人一倍本好きの文章研究者が書物と読書の楽しみを語りつづける」——朝日新聞 5/12 池田孝一氏

松浦孝雄氏(読者5/2)絶賛!



麵屋いしマダの この店に行け!

★北九州市黒崎駅でJRを降りる。まっすぐ歩いているバス通りを少し歩き、2本目の踏切を左にに入る。すると右手に異色を放つ2階建ての物件がある。そう、既に開店後数人の気配がない。なにもなかからず「空況だ」線路が店の行き来やカンパンから立ち昇るから不思議だ。それが異彩を放つ所以でもあるのか。地元では「一番に人気のあるラーメン店」だ。そう。だが思いの時代にならぬ。もともと血気盛んな九州男子の血が黒髪で、九州の土地に埋もれてしまうのはもったいない。トキオの渋谷にやてきたのだ。と勝手な思い込み。カンパンには酒粕をきかせ、

と「唐(カ)そば」とあった。中華そばとなく、ラーメンとなく、あえてオリジナルな言い方にこだわった先代の心意気が今も生きている。その黒髪でも、いまの渋谷でもカパンの書物と本文には同じだ。さて、そのトキオの店に土曜の昼下がり出向く。よくしる含む客待ちの状況だ。隣の店の店頭には20数名の、しかも家族連れが多く列を組んでいた。客に家族連れが多いラーメン店はいまだアルコに数少ない例が、ここにもまれず。そのことのみ不満。ラーメンの種はストリート・中細。店舗の地下にある製麺工場が毎日製造とのこと。スープはとんかつと鶏がら主なる。野菜が多く加わっている。まろやかな味に仕上がっている。具はチャーシュー

2枚にモヤシ、ワケギ、キクラゲ。メニューはこの1種類(600円)。この水玉スープには少なめだろう。大盛ラーメン750円。さらに海苔を巻かずに米だけシンプルに盛り、一個100円がある。カウンター席とテーブル席合わせて20数席の中規模店である。店内は、戦後の高度成長と知らない頃の、落ち着いた雰囲気。さかもし出ている。BGMはJAZZ。カウンター内は、きびきびした店員の動きと清潔感にあふれている。店名は、**「唐(カ)そば」**。場所は、JR 浅草駅東口、東京文化会館の前まわりの、首飾高遠にたへる。おちい果またこの入り口にある空間を、行列用にと考えた。したら、海いぞ、この店は! (営業中、黒田孝久)

緊急増刷中! 5月下旬出来予定

世の途中から隠されていること

木下直之 著

本体3800円

ISBN 4-794-6521-4

隠された近代日本の記憶を探る歴史小説!

この書ははじつに言い得て妙だとおぼれた。
【朝日新聞 3/31 松山 敬氏】

誰だってついでを打ちたくなる。
【週刊朝日 4/12号 神内 紀氏】

見るという行為がなんであるかを考えさせられる。
【読売新聞 4/7 千石 英氏氏】

晶文社 水木 5~6月

5月 小林薫『仕事ができる人は知っている』
鶴見俊輔 著 集『未来におきたいものは』
キャサリン・バーン『私はだれ? 静かなるベスト』
足立紀尚『幸福な死な後』
小護護研究家会編『直前総仕上げ』
クアータル・実験予想問題』

6月 晶文社ミステリ
F. アイルズ『被害の女性に關して』
ジェラルド・カーズ『最の中の手記』
森村泰昌『女優家Mの華麗なる軌跡』(仮)
上野 順子(仮)『がんに向きあって』(仮)